



発行 水谷東地区社会福祉協議会

発行人 沼田 眞 編集 情報部会



紙飛行機大会(3面)



全体昼食会(2面)

今回は、三丁目町会が運営している二つのサロン、「子供サロンみつば」と大人を対象とした「にっこりサロン」についてご紹介させていただきます。

子供サロンは毎月第一土曜日の11時から14時までの3時間です。1時間は机に向かつての学習、その後は30〜40分間、食事しながらおしゃべりを楽しまします。残りの時間は、自由時間としてゲームをしたり、落書きをしたり、大騒ぎをしたりして過ごし、最後におやつを食べて帰宅します。もちろん、集会所での活動は子供たちだけでなく、お兄さんやお姉さん、東小学校の校長先生、公民館の職員の方々に見守りや指導をお願いします。

現在、参加しているのは主に小学校低・中学年の子どもたちで、毎回5〜10名が集まってくれています。子供たちの元気な声に包まれたにぎやかな3時間は、私たち高齢のスタッフにとっても良い刺激となり、ちようどよい脳トレになっていると感じています。

大人のサロンは、毎月第二木曜日の13時30分から開催しています。年齢制限はなく、参加希望の方はどなたでもご参加いただけます。

二つの「サロン」

水谷東三丁目町会 町会長 本間広子

活動内容は、ひな祭りや端午の節句、クリスマスなど季節のイベントに合わせて工夫します。桜餅や柏餅、ちらし寿司などを皆でいただいたり、健康増進センターの方をお招きして、体操や歌、脳トレを行ったりします。また、年に数回、映画会も開かれています。毎回30〜40名程度の方々が参加しており、時には集会所の2階がいっぱいになるほどの賑わいで、参加者の皆さんと楽しい時間を過ごしていただいています。

子供サロンも大人サロンも、「運営が大変ですね」とお声をかけていただくことがあります。その言葉に励まされているのは私たちです。何よりも、参加してくださる皆さんにお会いできる楽しみがあるので、決して「大変」だと感じていただけるわけではありません。これからも多くの方に参加いただけることを楽しみにしています。



全体昼食会を開催しました

高齢者部会

高齢者部会では、地域にお住いの七十五歳以上の高齢者の皆さまを対象に、九月と十一月に、水谷東公民館の多目的ホールで全体昼食会を開催しました。

九月八日(日)は二丁目町会と榎町町会、十一月三日(日)は一丁目町会と三丁目町会の皆さまにご案内をして、希望する方にご参加いただき、両日とも多くの方で賑わいました。

九月八日(日)の昼食会では、参加者の皆さんが受付を済ませて続々と会場に入っというらしやった後、同じ町会の方同志でも久しぶりのご対面なのか、驚いて再会を喜んでいる様子が見られました。また、食後に席を立ち、別のテーブルのところへ行き、笑顔で話している方も多くいらっしやいました。

そうした様子を見てみると、この昼食会が地域の高齢者のみなさんの交流の場になっているのだなど、私たちスタッフも嬉し

く、やりがいを感じました。

今年度の昼食会の催し物では、富士見市市民人材バンクに登録されている『波之上楽団』のお二人をお招きし、楽しいお喋りとともに、昭和歌謡や沖縄の唄を披露していただきました。いかがでしたでしょうか？

これからも地域の皆さんに喜んでいただけるような昼食会にしていきたいと思ひます。

二回の昼食会の参加者は別表の通りです。なお、十一月三日(日)の昼食会は写真のみ掲載します。



開催日	参加者			
	二丁目	榎町	関係者 スタッフ	合計
9月8日(日)	77	6	15	98
11月3日(日)	一丁目	三丁目	関係者 スタッフ	合計
	19	45	15	79



食事内容 (9月8日)



沼田会長挨拶 (9月8日)



参加者の皆さん (9月8日)



高齢者部会スタッフ(11月3日)



参加者の皆さん (11月3日)



波之上楽団の演奏(11月3日)

第17回紙飛行機大会が開催されました

青少年部会

10月27日(日)、青少年部会主催の第17回紙飛行機大会が開催されました。天候にも恵まれ、快晴でほぼ無風の前沼公園は、紙飛行機を飛ばすのに最適なコンディションでした。

この大会は三世代交流を目的としていますが、参加者数は年々減少しています。青少年部会の金森さんによると、コロナによる中断が大きな影響を及ぼしているのではないかとのことでした。実際に、5～6年生の参加者は多い一方で、1～2年生の参加が少い印象がありました。来年は小学校低学年の児童に、紙飛行機の楽しさをもっと伝えるのが良いかもしれません。

受付を済ませた参加者は、それぞれ工夫を凝らした紙飛行機を作り、競技の準備をします。競技は、幼児から高齢者までの年齢グループ別に2回ずつ紙飛行機を飛ばし、飛行距離を競います。飛行機を飛ばす合図や飛

行距離の計測・記録は、青少年部会の皆さんが担当しました。

紙飛行機大会の後には、小学生を対象とした交通安全教室が行われ、〇×クイズ形式で交通规则に関する問題が出題されました。ほとんどの参加者が正解し、楽しみながら学べる内容でした。恒例のじゃんけん大会も実施され、大いに盛り上がりました。

また、受付の横では育成会の皆さんの協力により、昼食用の焼きそばが準備され、参加者とスタッフに配布されました。今年も感染症対策のため、会場での飲食は控え、焼きそばと飲み物はお持ち帰りいただきました。

さらに、老人会の方々の協力により、会場に集まった自転車の点検・整備が行われ、タイヤの空気圧チェックやチェーンの注油が実施されました。

関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。大会の成績と参加者数は以下の通りです。

第17回 紙飛行機大会 成績一覧表

学年/グループ	優勝	準優勝	3位
1年	大村朱璃 (5.15)	遠藤愛瑠 (0.80)	
3年	八並栄太 (11.40)	千葉珠与 (8.00)	中野由麻 (6.90)
4年	森山 陽 (3.70)		
5年	小池慶太 (11.80)	増田丈太郎 (8.40)	相原翔斗 (7.25)
6年	田村龍渡 (15.80)	新井成那 (12.02)	樺沢義人 (10.15)
一般男子	松田裕士朗 (16.70)	・右()内の数字は飛行距離(m)	
一般女子	小池ちあき (12.00)	・一般男女・シルバーは優勝のみ。幼児は順位づけ無し。	
シルバー	川上伸夫 (11.70)	・2年生は参加者無し(残念)。	

大会参加者数

幼児	小学生	一般男女	シルバー	スタッフ・関係者
6	29	19	16	21

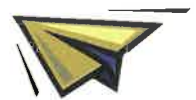
選手計:70人、合計:91人



育成会の焼きそば作り



自転車の点検・整備



入賞者の皆さん



競技風景2



競技風景1

『縁ジヨイ』 水谷東

青少年部会 金森光子

「袖振り合うも多生の縁」という言葉があります。道で見知らぬ人と袖が触れ合うことも、前世からの因縁だと言われます。また、「遠くの親戚より近くの他人」という言葉もあります。同じ土地に暮らすという縁がどれほど深いかを思うと、支え合い、守り合う心の大切さを強く感じます。そんな思いがあったからこそ、私は縁があり水谷東地区社会福祉協議会の福祉委員となりました。

私たち青少年部会では、三世代の交流を目指し、高齢者、子ども、親と一緒に楽しめるラジオ体操、美化デー、グラウンドゴルフ大会、紙ひこうき大会などの行事を行っています。各町会、子ども会育成会、老人会の皆さまのご協力を頂きながら、支えていただいていることに心から感謝申し上げます。

少子化やコロナ禍後の社会の変化により、子どもたちの参加が減少し、どうすればもっと多くの子どもたちが参加できるか、悩んでいます。しかし、これからも水谷

東ならではの行事を一つひとつ笑顔満開で行い、地域の皆さまと共に「縁ジヨイ」していきたいと思えます。そして、共に「縁ジヨイ」してください方を絶賛募集中です！

福祉バザーのお知らせ

- ・日時：令和6年12月1日(日) 午前10時から
- ・場所：水谷東公民館 多目的ホール
- ・販売品：衣類・こども服・日用雑貨品 …

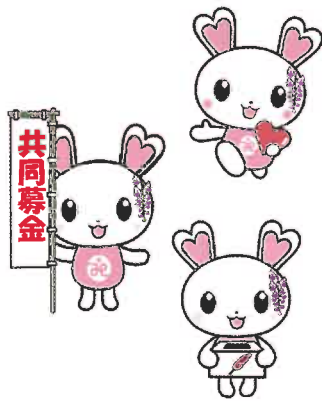
★掲き立て餅の販売を再開します！

水谷東地区社会福祉協議会

赤い羽根共同募金協力

10月2日(水)に赤い羽根の街頭募金活動を行いました。富士見市社会福祉協議会が行う募金活動への協力で、地区社協や民生委員などが参加し、市内各所において一時間ずつ交代で街頭募金を呼びかけました。

当地区社協からは、沼田会長ほか、土生さん、加見さん、保科さんの4人で参加し、みずほ台駅東口で午後5時から一時間ほど募金活動をし、多くの方のご寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。



グラウンドゴルフは中止に！
10月6日に予定されていたグラウンドゴルフは雨のため中止となりました。

編集後記

この1年、大谷翔平選手の活躍は驚異的でした。54本塁打、59盗塁を記録し、MLB史上初の「50-50」も達成しました。また、ナショナルリーグで本塁打王と打点王の2冠となり、イチロー選手や松井秀喜選手の記録も更新する大活躍を見せました。シーズンを通して一度も離脱せずにプレーを続けたことも偉業です。彼の若い頃からの日々の努力の賜物だと思います。

大谷選手には及びませんが、私たちの日々の活動が実を結び、成果を生むことがあります。大谷選手が観客を惹きつけ、経済にも好影響を与えたように、私たちの活動やイベントも人々を集め、この地域に良い影響をもたらしていると思います。コミュニティの誰もが挑戦し続け、成し遂げようとする姿勢が、私たちの生活に彩りと活気を与えているのです。

大谷選手のように、限界に挑戦する精神を見習って、私たちも夢を追い続けていきましょう。次号でも皆さんの活躍や地域の素晴らしい瞬間をお届けできることを楽しみにしています。